

- ・コラム (杉浦 良)
- ・お知らせ (同志社大学社会福祉学会賞受賞 コーヒーサービス開始)
- ・宿泊研修 2012 報告
- ・協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

153号/2012

Since 1984

「ギリギリスライフからアリライフへ」 杉浦 良

この 11 月、12 月は、私にとって随分ハードでした。遠方へ出向いたり、いろいろな所で話をさせていただいたり、原稿を書かなくてはならなかったり、自分の能力を超えてのスケジュールに、後悔することしきりです。「自分の能力の限界まで否応なく物事は進んでいく」というようなことを、確か精神科医の中井久夫さんが本の中で書かれていたのを、思い起こしました。「見学とか講演とか活動の上での依頼があった時は、極力断らないように！」と、太陽と緑の会創立者の近藤文雄から言われたのを言い訳にしながら、非力を誤魔化す今日この頃です。



10 個 100 円
セール

最大の特徴はセールの準備ご案内から会計、後片付けまで、メンバーだけで行うことです。

10 個数えて 100 円玉 1 枚頂き、貯金箱に入れます。

食器等の包装はお客様のセルフサービスですが、メンバーもお手伝いさせていただきます。

大阪西成区にある「釜ヶ崎・出会いの家（日雇い労働で生活してきた高齢者の支援活動を行っている）」からの通信に「生活保護費をもらったらまず米を買うように言っている・・・」という文章を見つけました。日雇い労働で生活してきた方々の多くは外食中心で自炊の習慣がなく、1日2300円（共益費や光熱水費などを差し引くと）ほどで生活をする困難さが、そこに書かれていました。米を炊く事で命をつなげることは、お金を稼いで外食する生活の対極にあります。そういえば、隣保館で男の料理教室を開き、好評を得ている話を聞きました。

「料理を作れない男が危ない」そんな教訓が見え隠れします。

「ワシはな、何とか子供に料理が作れるように、辛い事もさせてきたんや！能力的に無理やと言われようと、やれば出来るの一心でやらせてきた。作れなかったら飯がない。ご飯炊いてキャベツかじってもいいんよ。包丁で手を切ったら痛いのがわかる。子供からしたら鬼のオヤジだったと思うわな。でもな、自分で作れるようになったら、何とかここで暮らせるんよ。こんな田舎では食べる場所がない。その次は洗濯と掃除。臭くて皆から嫌われても困る。掃除もやれると周りの皆が多少は役に立つと、ワシが死んでも、ここにおいてくれるかもしれん・・・」そんな言葉を、随分前に聞かせてもらいました。

「お金があれば何とかなる」ということで成り立たせた生活のもろさを「自分で飯が作れれば何とかなる」という、別の軸で成り立たせることの意味を改めて思います。

そんなこんなの話、太陽と緑の会のメンバーたちに伝えると「クワちゃんはあるし、自分でカレーも作れんし・・・」とか「キムちゃんもあるし・・・。コンビニでメロンパン買ったり弁当買ったりして、自分では作れんのとちがう・・・？」とか、ワイワイガヤガヤ、反応上々でした。「そういうあんた達もやってよ！」と切り返す私です。

「ところで、あんたもギリギリの生活からアリさんの生活にシフトしてみたら？」「アリさんの生活ってなに・・・？」「毎日外食するのをやめて、そのお金をため、袋のラーメンと袋のお餅、そしてキャベツなんか買って、片手鍋でキャベツ餅入りラーメンを作るのよ！キャベツは包丁使わんと、手でちぎったらいい。1000円以上買うと1パック1円になる卵の日もうまく利用して、卵が手に入れば最高！ドnbrりなくても片手鍋で、そのまま食べれるし・・・」「カップラーメンじゃいかなの？」「カップラーメンは袋のラーメンより高いし、お餅やキャベツや卵が入らんだろ？」「なんで餅を入れるん？」「それはホームレスの人たちの知恵・・・。一番安くお腹一杯になるには、餅入りラーメンというわけ・・・」「何でそんなこと知ってるん？」「教室での勉強が勉強だけではないの。生きるための知恵も立派な勉強。ギリギリスライフからアリライフにパラダイムシフトすることに、アンタの将来がかかっているというわけ・・・」「オレの将来か？何やら、ようわからん話になってきた・・・」ブツブツつぶやくAさんがいました。

皆様に幸多き年でありますように。

お知らせ

同志社大学 社会福祉学会賞受賞

当会代表の杉浦が、2012年度同志社大学社会福祉学会賞（実践活動部門）を受賞しました。これまでの実践活動を評価して頂き、本当に有難いことと思います。

12月8日、同志社大学新町キャンパスで授賞式が行われ、杉浦が出席しました。空閑先生、野村先生を初め、お世話になった皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。

冬限定！

コーヒーサービス開始

太陽と緑の会事務局兼店舗建物は東祖谷産の杉の間伐材を11tトレーラー1車分使用し、壁には断熱材（50ミリのスタイロフォーム）を入れ、冬も暖房なしで快適に過ごすことができます。暖房のきいた店舗に入ると目やのどが乾燥して痛くなる方もいらっしゃるかと思いますが、太陽と緑の会なら大丈夫です。

たださすがに夜は少し冷え込んできます。そんな寒い中でもお買い物をして下さった皆様に感謝の気持ちをこめて、不定期ではありますが、無料のコーヒーサービスを始めました。

会議・講演・イベント

12/1 杉浦講演 精神障害者地域生活支援協議会四国ブロックフォローアップ研修会 in かがわ（香川県宇多津町）。

12/6 第9回環境ボランティア交流会実行委員会 杉浦出席 今年度は平成25年2月17日に美馬市で開催します。

12/15 第10回ふれあいフェスティバル（徳島県内の作業所等の交流会）（阿南市）太陽と緑の会リサイクル作業所よりメンバーの柴田さん、中尾さん、増岡さんの3名と杉浦が参加。

柴田さんは成人式を祝って頂き、喜んでいました。中尾さん、増岡さんもリフレッシュできたようで、いい表情で帰ってきました。

冬期休業について

12月31日～1月6日、冬期休業とさせていただきます。今年は官公庁が仕事納めとなった後の土日（12/29 12/30）も通常通り午後7時まで活動しておりますので、ぜひ利用下さい。

大変申し訳ございませんが、休業期間中の品物・資源ごみのお持ち込みは受付できませんので、ご遠慮頂きますようお願い申し上げます。

新年は1月7日より活動を再開します。活動時間に変更はございません。新年もよろしくお願い致します。

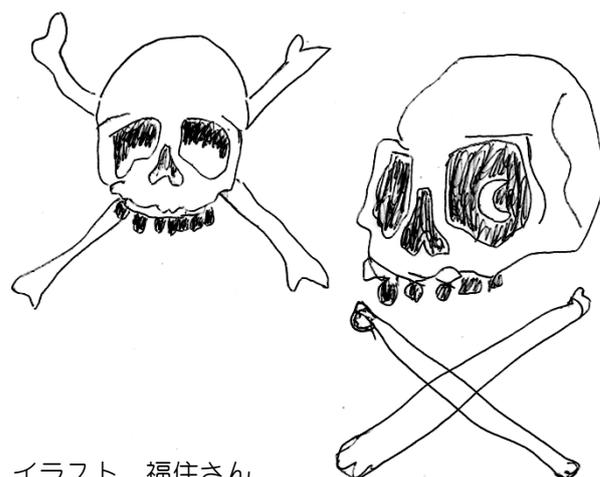


イラスト 福住さん

宿泊研修2012 報告

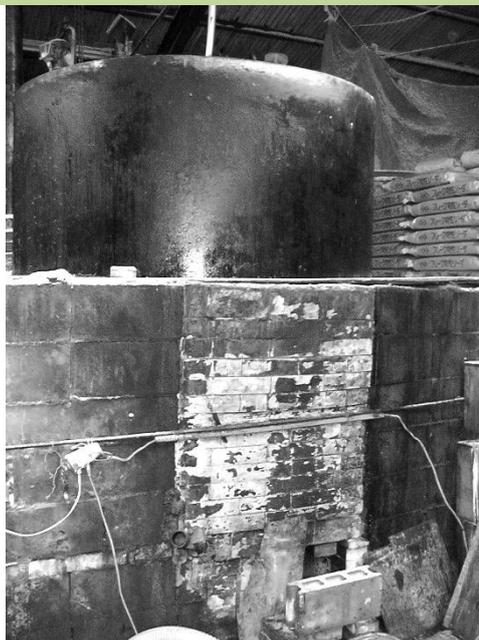
平成 24 年 11 月 26～27 日、公益財団法人徳島県福祉基金より「地域活動支援センター等利用者の社会参加促進事業」として受けた助成金に自己資金を合わせ、太陽と緑の会リサイクル作業所及び太陽と緑の会月の宮作業所合同の宿泊研修旅行を行いました。研修の参加者は様々なハンディを持ったメンバー、スタッフ、ボランティア、計 33 名です。

今回の研修では、作業所利用者の見識を深めることを目的として株式会社マルダイ石鹸本舗及び信楽焼窯元の見学を行いました。

午前 8 時に太陽と緑の会リサイクル作業所を出発。雨が降りしきる中、金毘羅タクシーの 41 人乗り貸切バスに乗って、海を越え、滋賀県大津市のマルダイ石鹸に到着しました。昼食は、メンバーの阿部君とパートの片岡さんによる手作りのおにぎり。具は頂き物の佃煮や梅干しで海苔をまいてラップに包み、節約に努めました。

鹸化用の大釜

直径 2 m 高さ 2 m、底板の厚さ 12mm の大釜に 1600ℓ のテンプラ廃油を投入。1200ℓの水に苛性ソーダを溶かし投入、鹸化。9 時に火を入れ、止めるのは 19 時半頃。作業場は冬は 5 度、夏は 35 度。火を入れると夏は最高 45 度まで上がるそうです。



マルダイ石鹸では、社長で職人の中井さんが案内して下さいました。

「マルダイ石鹸は昭和 53 年 5 月 1 日に創業した。廃食油から粉石けんを作るとい我が国初の取り組みに、全国から多数の見学者が訪れ、粉石けんづくり運動が広がった。粉石けんはよく売れたが、その後バブルが崩壊し、売り上げも落ちた。今は本当に必要としてくれている人だけが使って下さっている。」



太陽と緑の会ではリユース・リサイクル活動の一環として、平成 3 年～17 年、5 回に渡り、市民の皆様から回収したテンプラ廃油（累計 5000ℓ）を小型トラックでマルダイ石鹸まで運び、粉石けん（累計 7.5 t）を徳島に持ち帰り販売してきました。

平成 19 年から徳島でテンプラ廃油の BDF 化が始まり、当会で回収した廃油もディーゼル燃料としてリサイクルするようになりましたが、希望者が多かったことから、粉石けんの販売のみ継続して現在に至ります。

20 年来のお付き合いになりますが、遠方のため、ほとんどのメンバーは製造現場を見たことがなく、今回見学をお願い致しました。

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2012年10月1日～2012年11月30日§ (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

匿名、匿名、久次米、匿名、中山、三木、生島、西沢、吉田、成瀬

(郵便振替口座にご入金下さった皆様) 足立、中村、大谷

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○馬木、吉岡、川崎、江村、三木、坂井、柴田、矢部、高瀬、金丸、高野、丸山、富島、笠井、西振津、高尾、吉崎、井上、松原、西條、矢倉、岡川、山下、山上、渡瀬、高野、村上、川人、鉄野、粟谷、板東、豊田、大榎、石塚、山村、三好、中井、加藤、野口、河野、こまだ建設、松下、宮城、今獅子、尾本、赤井、斎藤、チケツ徳島、山本、城西病院、谷口、村尾、城福、鈴江、吉内、渡辺、松野、Dコム、近久、谷崎、遠藤、飯田、前川、敷島、新居、河崎、美馬、北岡、佐々木、武田、須原、藤井、立石、米沢、坂本、樋口、吉岡たばこ店、大塚、真鍋、中西、藤永、奥村、富岡医院、森、井沢、横田、長浜、平山、山中、加藤薬局、岡本、徳島カトリック教会、吉田、村川、清水、相原、長尾、玉井、松浦、関、近藤組、中田、熊本、中川、長岡、福本、井上、佐伯、伊能、西村、増田、手城、キッサつくし、大木、松本、筒井、岸木材、木村、木川、川崎、大崎、高木、宮崎、赤坂、林、坂東、松岡、浅田、仁尾、赤岩、三宅、大和久、毛利、白松、江島、中村、佐藤、森本、金田、岩崎、福永、多田、市川、梶川、福田、中村、藤田、斎、正木、杉本、高橋、折野、井口、富永、川端、岡田、西谷、近藤、照本、田村、片山、藤本、松田、刘馬、古野、高部、黒津、岡山、平岡、後藤田、元木、大岩、竹中、村口、古谷、藤原、工藤、西川、黒田、モディー、西沢、土肥、松波、大場、日根、岡部、後藤、米津、キム、鷺尾○藍住町○山村、新開、武田、大北、阿部、里見、山田○鳴門市○千葉、大村、辻、久龍、西川、米田、辻、長浜、水野、森○吉野川市○谷口、千葉、早瀬、干草、堀北、原田、割石○阿波市○阿部、今倉、榎原、真鍋、岩間○石井町○三木、島野、大和、佐古、藤中、山口、岡田、近藤、槌井、原田○小松島市○池添、内藤、津山、津山、町田、荒木、富田○北島町○加藤、結城、野村、中野、吉坂○阿南市○大下○上板町○橋本、松下

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○前川、佐々木、岩、富永、森崎、河野、縄田、高橋、戸田、須見、三浦、山本、青木、太田、宮本、松下、坂本、杉内、松尾、切中、森岡、迫、郡、坪内、上田、黒川、大和、大島、田村、月岡、村田、岩見、大岩、中河、山田、東口、寺内、小藪、川又、清井、大栗、加藤、徳島東ライオネスクラブ、佐藤、山内、吉田、遠藤、原田、西原、播、柿根、井上、曲木、奥野、長尾、友成、谷口、堀川、武市、浅見、二宮、岩佐、石川、阿部、津地、坂口、斎藤、田中、西沢、真弓、伊世、赤松、岸本、中西、川人、木戸、有井、越智、河崎、三谷、井内、森、橋本、篠原、元木、山岡、川田、藤本、岡村、大村、松田、岩野、板東、竹林、岡、川尻、林、団、内田、領家、中村、庄野、中川、平田、久保、岡本、富野、高松、別所、小川、鈴木、漆原、七條、井貝、大西、江島、小島、鎌田、藤井、進藤、久米川、筒井、荒木、木内、三宅、福永、多田、樋口、後藤田、藤澤、森内、寺本、福家、沖津、高田、倉本、中平、平井、川西、秋月、岩崎、松本、猪山、柳沢、蔭山、野村、馬淵、大隅、井原、梅岡、長谷部、福本、稲川、加賀、多村高、横山、高岡、村賀、松野、関口、永松、金丸、瀧、滝本、清水、杉本、板倉、田淵、梅谷、船戸、小澤、萩原、梅津、宮城、岡山、西野、津川、小渡、立石、三木、財田、嵐、前田、山西、鳳崎、黒岩、大上、児島、玉亀、森本、鳴海、久米、浜田、村尾、別所、藤原、笹山、島本、祐延、真貝、湯浅、米崎、森田、川添、中山、山崎、山富、中野、川島、三好、露口、木村、島田、佐中、滝川、早見、沢口、高井、太尾、藤崎、黒田、吉岡、楠川、苅山、中石、上松、杉浦、桑原、吉村、山松、西川、末岡、小堀、笹田、大家、山下、渡辺、土井、ナーサリー富岡幼稚園、三尾、柏原、永井、糸井、兼子、河村、谷、六田、古谷、玉置、広岡、岸田、平石、奥村、伊澤、小森、吉野、川池、西、生田、バライトーメアリ、清、米澤、山中、近藤、住瀬、橘、内海、坂野、佐古、平、岩谷、無養、田野、和田、照本、浜口、野口、釜本、片岡、第十、米倉、榎原、小手川、坂東、小林、堀井、川風、片山、向井、柴山、芝井、佐古小PTA、芦田、社団法人倫理研究所 家庭倫理の会徳島、辰巳、西岡、角田、手城、住瀬、石川、中原、四国大学学生ボランティア活動支援室木山、木元、桜木、松浦、夏木、滝山、杉村、藪内、田所、寺西、住友土居、菅生、宇都宮、高濱、野水、労福協なのはなヘルパーステーション、池田、浅尾、西村、明丸、島野、中河原、渋野、熊川、真鍋、北野、島崎、宇野、山口、登道、川上、村上、鈴江、尾方、戎、米田、岡田、福井、新、第一病院、藤沢、井関、緒方○石井町○中村、臼杵、桃井、板東、吉田、高橋、平田、佐々木、島野、重井、永岡、近藤、武市、佐藤、若松、坂口、浅井、植田、児島、筒井、佐々木、阿部、加藤、吉川、松本、大島、小川、山西、岡田、岩本、山口、堀井、大草、近藤、門條、岸上、岩本、中倉、久米、田村○吉野川市○石田、吉尾、向井、阿部、片岡、藤井、後藤、結城、渡部、中西、大塚、原田、吉野、吉田、島田、棚上、谷○阿波市○近藤、斎藤、笠井、川井、秋山、野口工務店、有井、福田、中嶋○東みよし町○リーデル○三好市○尾本○神山町○山口、高橋、手島、宮本、氏川、宮城、西川、河野○佐那河内村○彦上○上板町○高井、平田、小西、渡辺○板野町○犬伏、鎌田、つつじの会、井上○藍住町○木内、梶本、中村、三宅、藤井、入山、高田、西分、赤石、万藤、河野、野口、岩本、萬藤、北岡、三好、山本、寺内、滝口、中村、岸、藤本、松前、曾場、美馬、坂東、山田、片岡、溝内、小笠原、楠木、片岡、古川○北島町○北島、岡本、高橋、若田、池形、多田、浜村、田村、

南、永井、西條、丸山○鳴門市○山西、鳴門第一中学校、高田、横畑、尾上、斎藤、高松、藤森、近藤、四十宮、東、北洲、梶、渡辺、新崎、山本○小松島市○山岡、荒岡、中野、鎌田、内多、小川、北野、坂東、武田、檜原、柿田、芝原、飛田、藍谷、岩本○美馬市○吉田、曾我部、小川、小笠、松浦○海陽町○北村、神沢○阿南市○大山、武市、かつ、久米、天羽、松原、志賀、勝瀬、中脇○勝浦町○藤木○その他○岡、福山○東京都○佐尾山○埼玉県○本田○愛知県○オリバ○兵庫県○喜多、今村○京都府○藤原○広島県○びいあらいぶ○香川県○吉村、矢部、粟飯原、原、漆原、三谷

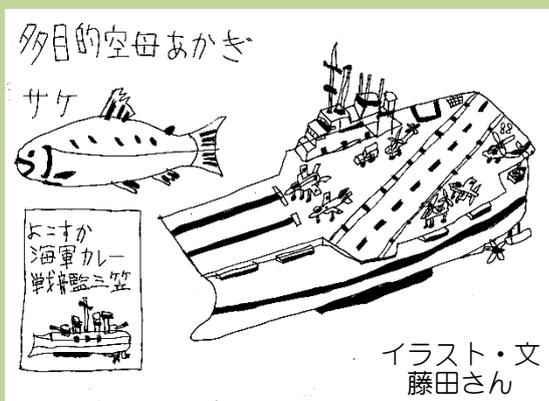
いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の方のご協力を頂いております。

またおいしいミカンを持って来て下さった多田様、いつも昼食にカレー、豚汁などの差し入れをして下さる河野様、片岡様、その他季節のお野菜、お菓子や飲み物などを持って来て下さった皆様にもこの場を借りてお礼申し上げます。

また本誌は毎回 300 部を全国に発送しておりますが、今回より、豊崎医院の豊崎光子様より頂いた間伐材封筒（NPO法人レインボー）を使用させて頂いております。

頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障がい者の支援、ボランティア育成、他団体への支援などに役立てています。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。



空母あかぎは強龍揚陸艦と空母を合体した6万2,000トンの日本の空母です。陸海空自衛隊を統合運用して行きます。「サケ」とよニすか海軍カレー初めです。自分にとってはちがった糸合は少しはかいて行きます。

編集後記～障がい者の「格差」問題

知的ハンディを持つAさんは、一戸建ての家に共働きの両親と暮らしている。6畳の個室には自分専用の机、テレビ、パソコンなどが置いてある。毎日原付で作業所に通所する。昼食は母が毎日弁当を用意してくれる。「今日も冷凍食品です」とAさんは言うが、きちんと栄養のバランスを考えたメニューになっている。給料は母が本人名義の口座に貯金してくれており、テレビ、原付など必要なものはこの貯金を下ろして買っている。

障害の程度も年齢もAさんと同じくらいであるBさんは、間取り3Kの公営住宅に両親と兄弟の6人で暮らす。一家の収入は、日給月給の仕事につく父の収入と、Bさんの作業所での給料のみ。Bさんは布団1枚ひくと畳が見えなくなる部屋に弟と2人で寝起きしている。

昼食は「昼食代がかかると家計が苦しくなるから」と本人の希望で弁当を持参していたが、弁当箱を開けると8-9割が白ごはんソーセージ1本とレタス2枚、といった具合が2年続いた。体がだるいと言って休むことも多かった。

Bさんが20才になって障害基礎年金がもらえるようになり、1年半、本人やご両親と話し合った結果、ようやく作業所で注文している給食のおかず弁当を昼食に食べるようになり、夏バテもしなくなった。今は作業所での給料で昼食代を支払い、生活費も家に入れ、小遣いでリユース品の服や靴も買うようになった。

障がいの程度を表す表現として「重度」「軽度」という言い方がある。一般的には「重度」の方が「軽度」の方よりも支援の必要性が高いと思われがちだが、必ずしもそうではない。

障がい者の方の置かれている状況は様々である。父もしくは母がいない方、母と血がつながっていない方、両親は別居しており自分は祖父母と暮らしている方、学齢前から施設に預けられきた方、健常者に負けないようにと幼少時から「頑張っ」てきた方、逆に家事は一切やらずに育ってきた方。

福祉施設の運営的な側面だけを考えた場合、行政からもらうお金が同じであれば、家庭環境がしっかりしていて成育歴にも特に問題のない人の方がよい、ということになる。

保護者の方も、わが子を福祉施設に入れるならば、多額の公的資金や財団からの助成を受け、冷暖房完備の立派な建物と送迎バスがあり「専門性が高い」とされている有資格者の指導員がいる施設の方が魅力的に見えるかもしれない。

その結果、公的資金が多く投入されている施設に、比較的支援の必要性の低い人が集まり、より多くの支援を必要としている人がその分はじき出されていく、という現象が生じることもある。

(事例は当会の活動内容をイメージして頂くために、日常の取り組みを紡いだものであり、ある特定の事例を指すものではありません。)

今年も残すところあとわずかとなりました。1年を振り返ると、2月に27周年記念誌を発行し、火災後の再建等でご尽力下さった皆様や長年当会を支援して下さいしている皆様などにお渡しさせて頂きました。

東日本大震災被災地支援については「細く長く継続的に行う」という方針のもと、当会から被災地団体への現金支援(約44万円：平成24年)の他、とくしま母子疎開の会の支援、チャリティライブの開催、チャリティ商品の販売も行いました。

運営的には非常に厳しい年でしたが、ディスプレイや陳列方法の変更、広報活動の強化などを戦略的に行うことで、何とか乗り切ることができました。ご寄附・会費、物品寄付という形で当会を直接的にご支援下さった方々を始め、様々な形で当会を応援して下さいした皆様、本当にありがとうございました。

なお、本誌の発送をもちまして新年のごあいさつに代えさせて頂きます。

新年もよろしくお祈り致します。(小山)

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリユース・リサイクル活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の地域活動支援センター・障害者地域共同作業所とリンクさせて、行っています。地域の中で「人も物も活かされる街作り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っています。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120

徳島県徳島市国府町南岩延107-1

TEL・FAX 088-643-1054 (事務局)
088-642-1054 (リサイクル)

URL <http://www.t-midori.org/>

E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

データ入力 岡田郁子

製本・発送 岡田郁子 宇津辰則 走川幸児

年会費：正会員1万円 準会員1,000円

郵便振替口座：01620-8-44703